第５学年　　道徳科学習指導案

１　主題名　友達と支え合う　友情・信頼　Ｂ―（１０）

２　資料名　友のしょうぞう画　（出典　光村図書「道徳」）

３　本時の指導

（１）ねらい

　　　　仲のよいという友達関係だけでなく、相手の立場や思いを理解し、相手のために自分ができることを考え、行動するという友情のあり方を知り、その思いに感動する心情を育てる。

（２）準備

　　　教師　場面絵、ワークシート

（３）関連　　光村図書「道徳」Ｂ－（２）　４年「友情・信頼」　「絵はがきと切手」

（４）　指導過程　　　　◎：中心発問　　　　形資：学習形態・資料

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 段階 | 時間 | 学習活動と主な発問 | 形資 | 支援及び指導上の留意点 |
| 導入 | ３  分 | １　自分と友達の人間関係を振り返る。  ○友達がいてよかったことを考える。  ・困っているとき、助けてくれた。  ・学校で話すのが楽しい。  考えよう　友達を思う心とは、どんなものだろう。 | 一斉 | ・これまでの経験を振り返らせて、仲が良くなるきっかけを想起させることで、ねらいとする価値への関心・問題意識を高める。 |
| 展開 | 10  分  15  分  15  分 | ２　資料「友のしょうぞう画」の前半部分（P95～P97）を読み、本時の「考えよう」について話し合う。  （１）どうして和矢は手紙が書きづらくなってしまったのだろう。  ・もう友達じゃないのかな。  ・病気で苦しいのかな。  ・新しい友達がいるのかな。  ・資料「友のしょうぞう画」の後半部分（P97～P97）  を読む。  （２）◎しょうぞう画を見た和矢の目になみだがあ  ふれたのはどうしてだろう。    ・僕のことを忘れずにいてくれたんだね。  ・疑ってごめんね。  ・大切な友達だと思われていてうれしい。  （３）和矢は章太にどんな手紙を書いたのか、和矢  になったつもりで手紙を書いてみる。  　　・病気に負けないでね。  　　・今度会いにいくね。  　　・何をして遊ぼうかな。 | 一斉  場面絵①  場面絵②  個人  （ワークシート）  　↓  ペア  　↓  一斉  一斉  場面絵➂  ペア  　↓  一斉 | ・章太とぼくが手紙を出す約束をした理由を考えさせる。  ・手紙を書くことについて考えさせる。  ・友情を続けていきたい。という気持ちに気づかせる。  ・手紙を書くことが、相手のことを思いやることだと気づかせる。  ・友情が終わりかけているような不安感に気づかせる。  ・終わりかけていると思っていた友情が、強い絆としてつながっていた喜びに気づかせる。  ・どんな気もちで手紙を書いたかを話し合い、友達を思う心について考えさせる。 |
| 終末 | ３  分 | ３　友達との友情を振り返ったり、今後の関係について考えたりする。  ４　教師の説話 | 個人  ↓  一斉 | ・これまでの経験で、相手を思って行動したことを考えさせる。  ・お互いのことを想い合える友情について、具体的に考える。 |